

豊橋南部土地改良区

○地域の魅力

当土地改良区の管轄する地域は、愛知県の東南部に位置し、豊橋市の市街地南部に位置している、温暖な気候と地理的条件に恵まれた地帯です。

本地区は、東から西、南から北へと起伏の多い丘陵地で、低地には水田、中高地には普通畑が広がっています。地区東部から西の三河湾に2級河川梅田川が流れており、地質は第4紀古層に由来する沖積層で、土壌は主に砂質土で形成されています。

○組織概要

受益面積	約 1,473.3ha (田 682.7ha、畑 790.5ha)
受益地	豊橋市 杉山町、老津町、植田町、野依町、大崎地区、高師地区、磯辺地区、福岡東部地区
組合員数	2,773人
総代数	54人
役員数	理事 18 名、監事 4 名
設立	昭和42年9月14日
職員数	2人

○取り組み

当土地改良区では、44か所の揚水機場を管理しています。この機場を通して、農地へ豊川用水を安定供給するため、定期的な点検や整備、更に単県事業による施設の更新事業を行っています。

こうした土地改良区の活動は、組合員の皆さまへ「豊橋南部土地改良区だより」にてお伝えしております。

また、今後の取り組みとして、揚水機場管理をICT（運転状況閲覧システム）を導入し、統一した管理を行うことを目指しています。

そして、毎年春には水田への通水に備え、地域の方々と交流しながら水路の浚せつ作業を行っています。

これからも地域の皆さまと一緒に、豊かな農地づくりに努めてまいります。